



11月8日 扇が丘幼稚園の皆さんから収穫したキウイフルーツや柿をいただきました

ごあいさつ

令和4年11月8日

11月に入りました。

朝晩はずいぶん冷え込むようになり、冬物のコートや暖房など冬支度を始めた方も多いと思います。

何かと物入りな時期を迎えるなか、歯止めがかからない原油価格・物価高騰により光熱費もかさみ、私たちの暮らしは大きな影響を受けています。その物価高騰による影響を少しでも緩和するため、10月21日には臨時議会を開催し、補正予算の議決をいただきました。物価・賃金・生活総合対策として、住民税均等割非課税世帯への給付金や民間保育園などへの光熱費の補助、肥料価格の高騰に伴う農業者への支援金など、国の事業に伴う予算措置に合わせて、市独自で上乗せさせていただきました。

既に市商工会と連携して取り組んでいるプレミアム付き商品券も2万冊を追加発行させていただきます。幅広く市民の皆さんに活用いただき、厳しい状況の中で、生活の一助になればと思います。

本市は11月11日に市制施行11周年を迎えます。2011年11月11日、県内11番目の市として野々市市は誕生しました。こだわりの「1」がずらりと並ぶ11周年に、昨年の10周年から新しい一歩を踏み出した実感が湧いてきます。

この日は特別なイベントは予定していませんが、これまでの野々市市を築いてこられた先人へ思いをはせ、さらに輝く野々市市へ思いを新たにすることと思います。

11年間、「市民協働」をまちづくりの基本に据え、市民の皆さんが主役となり、元気に活躍できる野々市市を創っていきたくて考えてきました。これからもその姿勢は変わることなく、より一層市民の皆さんが元気に輝けるよう追い求めていきたいと思っています。

11月8日に扇が丘幼稚園の年長さんから園で収穫したキウイフルーツをいただきました。園庭に植えられている木に今年初めて実が付いたそうです。キウイフルーツは苗木から実を付けるまで5年ほどかかると言われています。手間暇かけてようやく実ったキウイフルーツと、誇らしげな子どもたちの笑顔が、野々市市の11年間のまちづくりと重なります。

桃栗三年柿八年。一朝一夕とはいかないまちづくりも日々の努力の積み重ねが大きな実りをもたらせてくれると信じています。